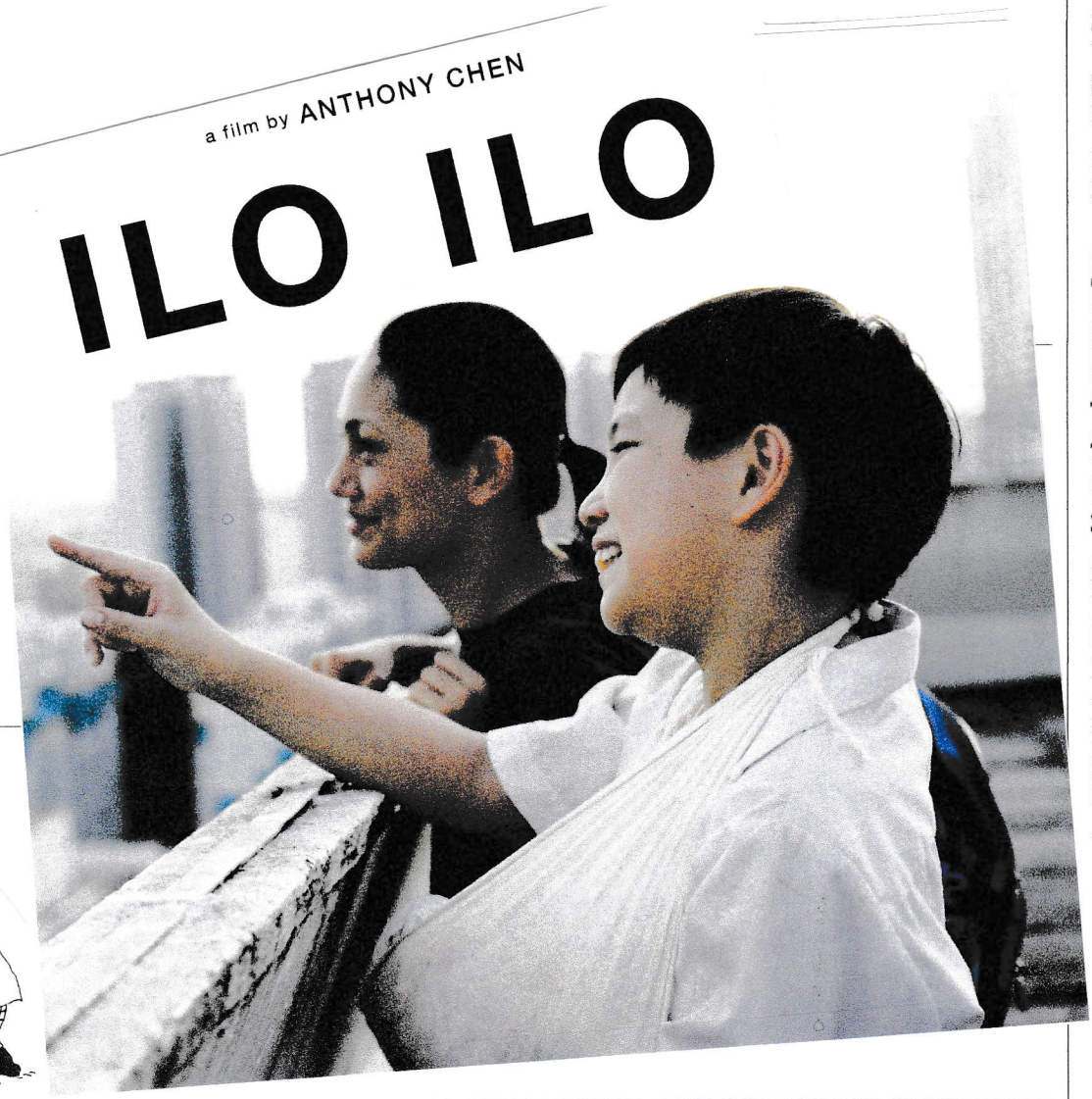
もう１回でも、２回でも観たい映画だ。シンガポールのごく平凡なありふれた家族を描いてカンヌ映画祭でカメラドール「新人監督賞」を受賞した。愛と笑いと切なさを描いて文句の付けようのない作品、子育て・移民政策・階級闘争・経済危機といった非常に重要な問題が浮かび上がってくる…などの評価があふれる。ジャールーとメイド（下の写真）の心の交流がひたひたと伝わってきて胸キュンになる。お父さんもお母さんも基本的にはいい人で、夫婦をまともに描いているのもいい。もう男の子はいいという母親の第二子出産シーンで閉じる映画。予想は女の子だったのにその赤ちゃんにはキンタマがあった…。



編集後記

▼年をまたいでたくさんのカンパを本当にありがとうございました。これで、十分今年度の活動ができます。ありがたいと共に気の引き締まる思いです。感謝です。

▼近所のお家がこれで二軒、三軒と空き家になり、解体業者が入り、更地になっていきます。人の営みの輪廻が身に染みる昨今です。

▼今年の目標を立てました。その中に「いそかん命」「節電行動」というのも入れました。本気で今年はいそかんのことができたらと思っています。

▼娘がインフルエンザで、広島を二往復。まっ、家内と交代でドライブ気分でいいんだけど遠い。若い頃は広島１２００キロを一日で一人運転で往復したのに。

▼「全国署名」お手数おかけしますが是非よろしくお願いします。六月には全国総行動でフクシマに連帯して環境庁や東電交渉に参加して参りたいと思います。

《 連絡・情報提供先　090-4269-0965　hagi1922@tcp-ip.or.jp 磯津環境学校情報室 》